

### (1) キッチンベイト戦略とは？

負けゲームを挽回するための起死回生の戦略で、丸出しで置いた得点ディスクを、キッチンベイトと言う。相手が、丸出しの得点ディスクをクリア又はキッチンに入れようとしてシュートしたディスクをボード上に残した時、これをキッチンに入れる戦略である。

### (2) キッチンベイトを置く場所

#### (2-1) 次の理由で、ロー7がベスト

- ① 遠いのでクリア・ザ・ボードが難しく、相手がキューディスクを残す機会が多い。
- ② キッチンに近いので、残った相手のキューディスクをキッチンに入れ易い。
- ③ キッチンに近いので、キッチンベイトをキッチンに入れられても、近くに残った相手のキューディスクを突いて入れ替えるリバースキッチンが容易。
- ④ 相手がキッチンベイトをキッチンに入れようとして、自分のキューディスクをキッチンに入れる幸運もある。

#### (2-2) 相手がセントピートを置いた時

通常、キッチンベイトは、図に示すように、相手が置いたセントピートの反対側、即ち相手コート側に置く。セントピート側に置くと、相手はキッチンベイトをクリア又はキッチンに入れながら、セントピートの背後に得点しようとする。

一方的にリードしている相手は、キッチンベイトを無視してセントピートの背後に得点するので、その際は、セントピート側の8エリアにキッチンベイトを置く。

#### (2-3) 第1ショットで、キッチンベイトをどちら側に置くか？

ドリフトも考えて、相手がキューディスクを残す可能性が大きいと思われる側を選ぶ。

### (3) キッチンベイトをプレーする時期

一般に、ディスク2~3枚分の得点をリードされた時に行う。ゲームの終盤では、1枚リードされてもプレーすべきであり、ゲームの序盤では、2~3枚分リードされても慌てず、状況を見て時期を判断する。

### (4) キッチンベイトへの対応

クリア・ザ・ボードをして、相手のディスクも自分のディスクも残さない。キッチンベイトをキッチンに入れようとしてはならない。

### (5) 相手がミスして、キッチンベイトを残したら？

2つ目のキッチンベイトを、1つ目とは反対側の7エリアに、両方が一度にクリアされないように十分離して置く。相手がキッチンベイトの1つをクリアしてキューディスクを残した時は、そのキューディスクをキッチンに入れ、相手がクリア・ザ・ボードした時は、再びそこにキッチンベイトを置く。第7ショットでは、残っているキッチンベイトをカバーする。

